

科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分				
						1年				2年				3年				4年						5年			
						前		後		前		後		前		後		前		後				前		後	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			1Q	2Q	3Q	4Q
一般	必修	日本語 I	0001	履修単位	2	4																				武田 拓 梅木 俊輔	
一般	必修	日本語 II	0002	履修単位	2		4																			武田 拓 梅木 俊輔	
一般	必修	技術者の日本語 I	0003	履修単位	2	4																				犬飼 亜 有美	
一般	必修	技術者の日本語 II	0004	履修単位	2		4																			犬飼 亜 有美	
一般	必修	日本の社会と文化 I	0005	履修単位	2	2	2																			朱 琳	
一般	必修	日本語 III	0006	履修単位	2			4																		朱 琳	
一般	必修	技術者の日本語 III	0007	履修単位	2			2	2																	犬飼 亜 有美	
一般	必修	日本の社会と文化 II	0008	履修単位	2			2	2																	犬飼 亜 有美 梅木 俊輔	
一般	必修	日本語 IV	0009	履修単位	2				4																	犬飼 亜 有美	
一般	必修	日本語 V	0010	履修単位	2					4																朱 琳 池田 智子	
一般	選択	数学	0011	履修単位	2					2	2															佐藤 公 男	
一般	必修	日本語 VI	0013	履修単位	2						4															朱 琳 池田 智子	
専門	選択	一般科学演習 I	0012	履修単位	2					2	2																
専門	選択	一般科学演習 I	0014	履修単位	2					2	2															兼下 英 司	
一般	必修	日本語 VII	0015	履修単位	2								2	2												武田 拓	
専門	選択	一般科学演習 II	0016	履修単位	2								4														
専門	選択	一般科学演習 III	0017	履修単位	2										4												
専門	選択	一般科学演習 II	0018	履修単位	2								4														
専門	選択	一般科学演習 II	0019	履修単位	2								4														
専門	選択	一般科学演習 III	0020	履修単位	2										4												
専門	選択	一般科学演習 III	0021	履修単位	2										4												

仙台高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	日本語Ⅴ
科目基礎情報					
科目番号	0010		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	総合工学科Ⅰ類 (留学生)		対象学年	3	
開設期	前期		週時間数	4	
教科書/教材	①Practical Kanji現代社会を読むvol.1 (ask) ②新完全マスターN1語彙 (スリーエーネットワーク) ③テーマ別上級で学ぶ日本語改訂版 (研究社) ④学ぼう日本語中上級 (専門教育出版) ⑤速読の日本語 (The Japan Times) ⑥日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座 (アスク出版)、その他自作資料				
担当教員	朱 琳,池田 智子				
到達目標					
1. 有意義な留学生活を送るために、情報受信力 (聞く・読む) と発信力 (話す・書く) 両方のバランスのよいコミュニケーションができるようになる。 2. 漢字、語彙の一層の強化をはかり、適切な文章を書いたり、発話できるようになる。社説のような文を読み理解し、さらにそれに対する自分の考察も日本語でできるようになる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)		
読む	未習の語彙が含まれる文章を類推を用いて読むことが出来る。	辞書を用いて文章を読むことが出来る。	文章を読むのに大きな手助けを必要とする。		
聞く	まとまりのあるテキストを聞いて、未習語や聞き取り難い部分があっても全体から類推して情報を得ることが出来る。	繰り返せば、まとまりのあるテキストを聞いて、未習語や聞き取り難い部分があっても全体から類推して情報を得ることが出来る。	繰り返しても、まとまりのあるテキストを聞いて全体から類推して情報を得ることが難しい。		
話す	身近な話題について、自分の考え・意見を述べる事が出来る。	こちらの手助けがあれば、身近な話題について、自分の考え・意見を述べる事が出来る。	自分の考え・意見を述べる事が難しい。		
書く	表現したい内容を適切な語彙を用いて書くことが出来る	表現したい内容を適切な語彙を用いて書くことがやや難しい。	表現したい内容を適切な語彙を用いて書くことに大きな手助けを必要とする。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	高専生活に適応していくために必要な日本語力を養成する。教材には日本事情・日本文化・時事的話題・科学読み物など幅広い分野を取り上げ、実際の使われ方を重視した授業活動・課題を用いて進める。予備教育で学んだ日本語を基礎に、語彙・漢字・表現力を広げ、伸ばしながら4技能 (聞く・話す・読む・書く) のバランスの取れた日本語力を身につける。口頭表現 (会話・報告・意見発表・スピーチなど) 及び作文表現 (メール・手紙・レポート・一般作文など) の力を養い、専門科目履修効果を高めると共に、コミュニケーション能力の向上を目指す。				
授業の進め方・方法	授業はタスク活動・演習を中心に行うので積極的に参加することが求められる。 事前学習: ある程度分量のある日本語を読んだり聞いたりすることを通し、その中で使われる語彙・文法を身につける活動が授業の中心となるので、事前に内容に目を通し語彙などの確認しておくことが望ましい。 事後学習: 授業後は小テストに備えての復習と毎回出されるテーマに基づいた作文の作成にあたること。				
注意点	開講後、学生の日本語能力を判断した上で、授業内容や教科書を変更することがある。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	漢字: 地球温暖化対策 語彙: 性格/人柄 教科書: コロンブスの卵 会話: 親しくなるきっかけを作ろう	・ 地球温暖化対策に関する漢字・語彙の強化 ・ 性格/人柄に関する語彙の強化 ・ まとまった文の内容理解強化 ・ 会話力を高める	
		2週	漢字: 地球温暖化対策 語彙: 性格/人柄 教科書: コロンブスの卵 会話: 親しくなるきっかけを作ろう	・ 地球温暖化対策に関する記事が読める ・ 性格・人柄に関する語彙の強化 ・ 文法の強化 ・ 会話力を高める	
		3週	漢字: 日本のエネルギー問題 語彙: 人間関係/付き合い 教科書: コロンブスの卵 読解: 持続可能な発展に関する文章を読む	・ 日本のエネルギー問題に関する漢字/語彙の強化。 ・ 人間関係に関する語彙強化 ・ ニュースなどのリスニング力強化 ・ SDGsに関する知識を身につける	
		4週	漢字: 日本のエネルギー問題 語彙: 人間関係/付き合い 教科書: コロンブスの卵 読解: 持続可能な発展に関する文章を読む	・ 日本・海外のエネルギー問題に関する記事が読める ・ 人間関係に関する語彙強化 ・ プレゼンテーション力強化 ・ SDGsに関する知識を身につける	
		5週	漢字: ネット社会の課題 語彙: 日常生活 教科書: 宇宙人のぼやき 映像: フードロスに関するドキュメンタリーPart1	・ ネット社会の課題に関する漢字/語彙の強化 ・ 日常生活に関する語彙強化 ・ まとまった文の内容理解強化 ・ フードロスに関する語彙・表現を身につける	
		6週	漢字: ネット社会の課題 語彙: 日常生活 教科書: 宇宙人のぼやき 映像: フードロスに関するドキュメンタリーPart 2	・ ネット社会の課題に関する記事が読める ・ 日常生活に関する語彙強化 ・ 文法強化 ・ 資本主義経済、飢餓に関する語彙・表現を身につける。	

2ndQ	7週	漢字：日本の進学事情 語彙：医療・健康 教科書：宇宙人のぼやき 作文と発表：タイのフードロスと飢餓について	<ul style="list-style-type: none"> 日本の進学事情に関する漢字/語彙の強化 医療・健康に関する語彙強化 ニュースを聞いて、内容を伝える練習と習得 資料調査、発表する能力を高める
	8週	漢字：日本の進学事情 語彙：医療/健康 教科書：宇宙人のぼやき 速読：スキヤニング 会話：身近な人とのエピソード	<ul style="list-style-type: none"> 日本/海外のの進学事情に関する記事が読める 医療・健康に関する語彙の強化 プレゼンテーション力強化 スキヤニングの練習を行い、速読のスキルを身につける。
	9週	漢字：日本の少子高齢化 語彙：芸術/スポーツ 教科書：エネルギー物語 速読：スキミング 会話：身近な人とのエピソード	<ul style="list-style-type: none"> 日本の少子高齢化に関する漢字/語彙の強化 芸術・スポーツに関する語彙強化 まとまった文の内容理解強化 スキミングの練習を行い、速読のスキルを身につける。
	10週	漢字：日本の少子高齢化 語彙：芸術・スポーツ 教科書：エネルギー物語 速読：スキミング 映像：仙台・石巻	<ul style="list-style-type: none"> 日本/世界の少子高齢化に関する記事が読める 芸術・スポーツに関する語彙強化 文法の強化 スキミングの練習を行い、速読のスキルを身につける。
	11週	漢字：日本の雇用問題 語彙：教育 教科書：エネルギー物語 速読：スキミング 読解：『ひとはなぜ戦争をするのか』	<ul style="list-style-type: none"> 日本の雇用問題に関する漢字/語彙の強化 教育に関する語彙強化 ニュースなどのリスニング力強化 スキミングの練習を行い、速読のスキルを身につける。
	12週	漢字：日本の雇用問題 語彙：教育 教科書：エネルギー物語 速読：スキヤニングとスキミングを同時に使う 読解：『ひとはなぜ戦争をするのか』	<ul style="list-style-type: none"> 日本の雇用問題に関する記事が読める 教育に関する語彙強化 プレゼンテーション力強化 スキヤニングとスキミングを同時に使い、速読のスキルを強化する。
	13週	漢字：日本の農業の試み 語彙：仕事 教科書：学ぼう日本語 慣習/風習 速読：スキヤニングとスキミングを同時に使う 読解：『ひとはなぜ戦争をするのか』	<ul style="list-style-type: none"> 日本の農業の試みに関する漢字/語彙の強化 仕事に関する語彙強化 著者の主張を理解し、要約する スキヤニングとスキミングを同時に使い、速読のスキルを強化する。
	14週	漢字：日本の農業の試み 語彙：仕事 教科書：学ぼう日本語 慣習/風習 速読：実践 読解：『ひとはなぜ戦争をするのか』	<ul style="list-style-type: none"> 日本の農業の試みに関する記事が読める 副詞の強化 調べたことをまとめ、伝えることができる 速読の実践を行う。
	15週	試験	
	16週	答案返却とフィードバック	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		期末試験・小テスト	課題作文・授業中の取り組み	合計	
総合評価割合		50	50	100	
総合評価		50	50	100	

仙台高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	数学
科目基礎情報					
科目番号	0011		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	総合工学科 I 類 (留学生)		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	新基礎数学(改訂版), 新基礎数学問題集(改訂版), 新線形代数(改訂版), 新線形代数問題集(改訂版), 新微分積分 I, II (改訂版), 新微分積分 I, II 問題集(改訂版) (以上, 高遠節夫ほか, 大日本図書)				
担当教員	佐藤 公男				
到達目標					
基礎数学, 線形代数, 微分積分 I の教科書の日本語による表記と基礎概念を理解し, その基本的な性質を利用して具体的な計算ができるようになる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
基礎数学	教科書のほとんどの問題を自力で解ける。		誘導を与えられることにより, 教科書レベルの問題がほとんど自力で解ける。		誘導を与えても, 教科書レベルの問題がほとんど解けない。
線形代数	教科書のほとんどの問題を自力で解ける。		誘導を与えられることにより, 教科書レベルの問題がほとんど自力で解ける。		誘導を与えても, 教科書レベルの問題がほとんど解けない。
微分積分 I	教科書のほとんどの問題を自力で解ける。		誘導を与えられることにより, 教科書レベルの問題がほとんど自力で解ける。		誘導を与えても, 教科書レベルの問題がほとんど解けない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	本校 3 年次の数学科目や専門科目の学習に必要な 2 年次までの数学の履修すべき内容を修得する。また, 日本語による表記を理解し, 不足している学習内容を補完し, 3 年次編入留学生の 3 年次授業への移行を補助する。さらに, 微分積分学 II などの 3 年次で履修する数学についてもその理解度を確し, 更に数学がベースとなっている専門基礎科目への応用方法について振り返る。				
授業の進め方・方法	前半は基礎数学を中心に, 後半は線形代数と微分積分を中心に進める。各学習内容の例題や演習を通して, 必要に応じてホワイトボードを使って質疑応答を行いながら, その理解度及び専門基礎科目への応用力について確認する。 【事前学習】 次回の授業内容 (教科書) を確認しておくこと。 【事後学習】 指定された教科書の演習問題を解き, レポートとして次回までに提出すること。 【確認試験】 授業の進捗にあわせて, 基礎的能力の確認のための小テストを前期と後期にそれぞれ複数回実施する。				
注意点	初回の授業において, 教員作成のチェックシートを用いて, 2 年次までに学習しておくべき内容 (用語の日本語及び英語表記を含む) の履修の有無について明確にしておく。 授業は, 学生の理解の程度に合わせて, 不足している部分に学習時間を多く割いたり, より高度な内容に踏み込むなど, 柔軟に対応する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	基礎数学: 数と式	・自然数 (正の整数), 整数, 分数, 有理数, 無理数, 実数, 平方根, 約数, 倍数, 最大公約数, 最小公倍数という日本語が解る。 ・素因数分解, 有理化の計算ができる。	
		2週	基礎数学: 2 次関数	・関数, 2 次関数, 象限という日本語が解る。 ・2 次関数のグラフが描ける。 ・2 次関数の最大値と最小値が求められる。	
		3週	基礎数学: 2 次方程式	・複素数, 実(数)部, 虚(数)部という日本語が解る。 ・2 次方程式の解の公式が使える。 ・2 次方程式の解の判別式が使える。 ・2 次関数と直線との交点が求められる。	
		4週	基礎数学: 2 次不等式	・2 次不等式が示す範囲が解る。	
		5週	基礎数学: 命題と等式と関数	・集合, 命題, 恒等式という日本語が解る。 ・高次方程式, 高次不等式が解る。 ・平行移動, 対称移動ができる。 ・べき関数, 分数関数, 無理関数, 逆関数の形が解る。	
		6週	基礎数学: 指数関数と対数関数	・累乗, 累乗根, 対数という日本語が解る。 ・指数関数, 対数関数のグラフが描ける。	
		7週	基礎数学: 三角関数	・正弦, 余弦, 正接という日本語が解る。 ・三角形の面積, 辺の長さ, 角度を使った計算ができる。 ・加法定理, 余弦定理を用いて計算できる。	
		8週	基礎数学: 平面上の図形	・直線, 円, 楕円の方程式が解る。 ・2 直線の交点を求めることができる。 ・直線や円の不等式による領域が求められる。 ・重心, 外心, 内心, 垂心という日本語が解る。	
	2ndQ	9週	基礎数学: 場合の数	・場合の数, 順列, 組合せという日本語が解る。 ・二項定理を使って式を展開できる。	
		10週	基礎数学: 数列	・等差数列, 等比数列, 無限数列, その他の様々な数列について知っている。 ・数学的帰納法という日本語が, どのような方法であるかが解る。	

		11週	線形代数：平面ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの基本演算ができる。 平面ベクトルを成分表示し、内積、外積を求めることができる。
		12週	線形代数：空間ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 空間ベクトルを成分表示し、内積、外積を求めることができる。 ベクトルの平行、垂直条件を利用することができる。
		13週	線形代数：ベクトルと図形	<ul style="list-style-type: none"> 直線、平面のベクトル方程式を求めることができる。 点と直線の距離、点と平面の距離、球の方程式を求めることができる。
		14週	線形代数：行列と行列式	<ul style="list-style-type: none"> 行列の演算（和、実数との積、積）、逆行列を求めることができる。 演算の代表的な法則（交換、結合、分配など）を知っている。
		15週	線形代数：行列の応用	<ul style="list-style-type: none"> 行列を用いたベクトルの各種線形変換ができる。
		16週	線形代数：行列の応用	<ul style="list-style-type: none"> 正方行列の固有値、固有ベクトルを計算できる。 正方行列の対角化とその応用について理解できる。
後期	3rdQ	1週	微分積分：増加と減少、極大と極小、最大値と最小値	<ul style="list-style-type: none"> 関数、接線、増加と減少、極大と極小、最大値と最小値が求められる。
		2週	微分積分：合成関数、対数関数、指数関数、三角関数	<ul style="list-style-type: none"> 合成関数、対数関数、指数関数、三角関数の微分ができる。
		3週	微分積分：逆関数	<ul style="list-style-type: none"> 逆関数を求めることができる。 逆三角関数の微分ができる。
		4週	微分積分：高次導関数	<ul style="list-style-type: none"> べき級数の収束と発散が解る。 高次導関数を微分できる。 テイラーの定理について説明できる。
		5週	微分積分：不定積分	<ul style="list-style-type: none"> 不定積分の定義を理解し、基本計算ができる。
		6週	微分積分：定積分	<ul style="list-style-type: none"> 定積分の定義を理解し、基本計算ができる。
		7週	微分積分：置換積分と部分積分	<ul style="list-style-type: none"> 置換積分法、部分積分法を使った不定積分ができる。 置換積分法、部分積分法を使った定積分ができる。
		8週	微分積分：分数関数と三角関数の積分	<ul style="list-style-type: none"> 分数関数の積分ができる。 三角関数の積分ができる。
	4thQ	9週	微分積分：定積分の応用	<ul style="list-style-type: none"> 直線や曲線によって囲まれた様々な形の図形の面積や体積を求めることができる。
		10週	微分積分：定積分の応用	<ul style="list-style-type: none"> 面積や体積が求められる。 特定の範囲内の曲線の長さが求められる。
		11週	微分積分：広義積分	<ul style="list-style-type: none"> 広義積分の必要性について理解でき、実際に計算できる。
		12週	微分積分：関数の展開	<ul style="list-style-type: none"> マクローリン展開ができる。 オイラーの公式を理解できる。
		13週	微分積分：複素数の応用	<ul style="list-style-type: none"> 正弦波交流回路における複素数の役割と使い方について理解できる。
		14週	微分積分：微分方程式	<ul style="list-style-type: none"> 変数分離形、同次形、線形などの1階微分方程式を解くことができる。
		15週	微分積分：微分方程式	<ul style="list-style-type: none"> 線形2階微分方程式を解くことができる。
		16週	微分積分：微分方程式の応用	<ul style="list-style-type: none"> 電気回路の過渡現象への応用について理解できる

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		小テスト	演習課題	合計	
総合評価割合		40	60	100	
基礎的能力		40	50	90	
専門的能力		0	10	10	

仙台高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	日本語VI
科目基礎情報					
科目番号	0013		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	総合工学科 I 類 (留学生)		対象学年	3	
開設期	後期		週時間数	4	
教科書/教材	①practical Kanji 現代社会を読む700漢字vol.2 (ASK) ②新完全マスター-N1語彙 (スリーエーネットワーク) ③テーマ別上級で学ぶ日本語改訂版 (研究社) ④日本語で考えたい科学の問い上 (凡人社) ⑤速読の日本語 (The Japan Times) ⑥日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座 (アスク出版) ⑦そのほか自作資料				
担当教員	朱 琳,池田 智子				
到達目標					
1.前期に引き続き、更なる情報受信力 (聞く・読む) と発信力 (話す・書く) の習得を目指す。					
2.漢字、語彙の一層の強化をはかり、適切な文章を書いたり、発話ができるようになる。社説のような文を読み理解し、さらにそれに対する自分の考察も日本語で出来るようになる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
読む	未習の語彙が含まれる文章を類推を用いて読むことが出来る。	辞書を用いて文章を読むことが出来る。	文章を読むのに大きな手助けを必要とする。		
聞く	まとまりのあるテキストを聞いて、未習語や聞き取り難い部分があっても全体から類推して情報を得ることが出来る。	繰り返せば、まとまりのあるテキストを聞いて、未習語や聞き取り難い部分があっても全体から類推して情報を得ることが出来る。	繰り返しても、まとまりのあるテキストを聞いて全体から類推して情報を得ることが難しい。		
話す	身近な話題について、自分の考え・意見を述べる事が出来る。	こちらの手助けがあれば、身近な話題について、自分の考え・意見を述べる事が出来る。	自分の考え・意見を述べる事が難しい。		
書く	表現したい内容を適切な語彙を用いて書くことが出来る	表現したい内容を適切な語彙を用いて書くことがやや難しい。	表現したい内容を適切な語彙を用いて書くことに大きな手助けを必要とする。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	前期に引き続き、高専生活に適応していくために必要な日本語力を養成する。教材には日本事情・日本文化・時事的話題・科学読み物など幅広い分野を取り上げ、実際の使われ方を重視した授業活動・課題を用いて進める。これまで学んだ日本語を基礎に、更に語彙・漢字・表現力を広げ4技能 (聞く・話す・読む・書く) のバランスの取れた日本語力を身につける。口頭表現 (会話・報告・意見発表・スピーチなど) 及び作文表現 (メール・手紙・レポート・一般作文など) の力を養い、専門科目履修効果を高めると共に、コミュニケーション能力の向上を目指す。				
授業の進め方・方法	授業はタスク活動・演習を中心に行うので積極的に参加することが求められる。(事前学習) ある程度分量のある日本語を読んだり聞いたりすることを通して、その中で使われる語彙・文法を身につける活動が授業の中心となるので、事前に内容に目を通し語彙などの確認をしておくことが望ましい。(事後学習) 授業後は小テストに備えての復習と毎回出されるテーマに基づいた作文の作成にあたること。				
注意点	開講後、学生の日本語能力を判断した上で、授業内容や教科書を変更することがある。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	漢字: 宮崎駿監督 語彙: メディア 教科書: 健康ブームの光と影 速読: 必要な情報を取り出す ライティング講座: アカデミックな文章とは	・ 宮崎駿監督始めアニメに関する内容の漢字/語彙の強化 ・ メディア関連の語彙の強化 ・ まとまった文の内容理解強化 ・ 学術論文と一般文章の違いを復習する	
		2週	漢字: 宮崎駿監督 語彙: メディア 教科書: 健康ブームの光と影 速読: 正誤問題 ライティング講座: 文中・文末のスタイル	・ 宮崎駿監督始めアニメに関する内容の記事が読める ・ メディア関連の語彙の強化 ・ 文法の強化 ・ 専門的な論文の書き方を強化する	
		3週	漢字: 大相撲 語彙: 経済・産業 教科書: 健康ブームの光と影 速読: タイトル・トピックを考える ライティング講座: 指示表現	・ 大相撲に関する漢字/語彙の強化 ・ 経済・産業に関する語彙力強化 ・ ニュースなどのリスニング力強化 ・ 論文における指示表現の使い方を強化する	
		4週	漢字: 大相撲 語彙: 経済・産業 教科書: 健康ブームの光と影 速読: 次に続く内容を予測する ライティング講座: 論文の構成を磨く	・ 大相撲に関する記事が読める ・ 経済・産業に関する語彙強化 ・ プレゼンテーション力強化 ・ 序論・本論・結論/中心文・支持文の役割を理解する	
		5週	漢字: 夏目漱石 語彙: 政治・法律・歴史 教科書: 猫ばばと死刑 速読: 新聞の見出しを読む 読解: 日本人論を読む	・ 夏目漱石に関する漢字/語彙の強化 ・ 政治・法律・歴史に関する語彙強化 ・ まとまった文の内容理解強化 ・ 序論・本論・結論/中心文・支持文の役割を理解する	

4thQ	6週	漢字：夏目漱石 語彙：社会問題 教科書：猫ばぼと死刑 速読：記事を読んでディスカッションする ライティング講座：接続表現・副詞	・夏目漱石はじめ日本の文豪に関する記事が読める ・格差社会・少子高齢化に関する語彙強化 ・文法の強化 ・論文における接続表現・副詞のアカデミック・スタイルを強化する
	7週	漢字：日本人の信仰 語彙：社会問題 教科書：猫ばぼと死刑 速読：お知らせ ライティング講座：主張・文末のバリエーション	・日本人の信仰に関する漢字/語彙の強化 ・格差社会・少子高齢化に関する語彙強化 ・ニュースなどのリスニング力強化 ・学術論文における主張と文末の表現を豊かにする。
	8週	漢字：日本人の信仰に関する記事が読める 語彙：科学・自然・地形 教科書：猫ばぼと死刑 速読：ショートストーリー「誘拐」 ライティング講座：根拠を示す、反論	・社会のニュースに関する漢字の強化 ・自然・地形・地理に関する語彙の強化 ・プレゼンテーション力強化 ・説得力のある論文の書き方を身につける
	9週	漢字：文化のニュース 語彙：技術 教科書：コンピュータ夢物語 速読：ショートストーリー「ボッコちゃん」 ライティング講座：名詞・動詞・い形容詞・な形容詞	・文化に関する漢字/語彙の強化 ・技術に関する語彙強化 ・まとまった文の内容理解強化 ・名詞・動詞・い形容詞・な形容詞のアカデミック・スタイルを身につける
	10週	漢字：文化のニュース 語彙：抽象概念 教科書：コンピュータ夢物語 速読：ショートストーリー「愛用の時計」 ライティング講座：呼応、文のねじれ	・文化に関する記事が読める ・時間/空間に関する語彙強化 ・文法の強化 ・呼応表現と文のねじれについて学習する
	11週	漢字：防災-自然災害 語彙：抽象概念 教科書：コンピュータ夢物語 速読：ショートストーリー「不眠症」 ライティング講座：段落/主張・定義・例示・比較・問題点の指摘	・防災-自然災害に関する漢字/語彙の強化 ・体の言葉を使った慣用表現の強化 ・ニュースのリスニング強化 ・段落の役割を理解し、主張・定義・例示・比較・問題点の指摘の表現を強化する
	12週	漢字：防災-自然災害 語彙：抽象概念 教科書：コンピュータ夢物語 速読：時事ニュース ライティング講座：助詞・引用の表現	・防災-自然災害に関する記事が読める ・時間・空間に関する抽象概念の語彙の強化 ・プレゼンテーション力強化 ・接続助詞・終助詞・引用の表現などを習得する
	13週	漢字：防災-地震 語彙：抽象概念 教科書：グループに分かれた戦争を人間はいかにしてやめられるのか？ 速読：説明文 ライティング講座：直接引用と間接引用	・防災-地震に関する漢字/語彙の強化 ・関係・変化に関する抽象概念の語彙強化 ・著者の主張を理解し、要約する ・直接引用と間接引用の違いを理解し、関連する文法を強化する
	14週	漢字：防災-地震 語彙：抽象概念 教科書：グループに分かれた戦争を人間はいかにしてやめられるのか？ ライティング講座：復習	・防災-地震に関する記事が読める ・関係・変化に関する抽象概念の語彙強化 ・プレゼンテーション力強化 ・後期に学習した論文作成に関する知識を復習する
	15週	試験	
	16週	答案返却とフィードバック	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		期末試験・小テスト	課題作文・授業中の取り組み	合計	
総合評価割合		50	50	100	
総合評価		50	50	100	

仙台高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	日本語Ⅶ
科目基礎情報					
科目番号	0015	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	総合工学科 I 類 (留学生)	対象学年	4		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	前期: 「日本語を書くトレーニング」 (ひつじ書房) 後期: 「日本語を話すトレーニング」 (ひつじ書房)				
担当教員	武田 拓				
到達目標					
1. 中上級日本語の語彙・表現・読解力を確実なものにし幅広く運用できるようになる。 2. 口頭表現 (説明・報告・発表・討論など) の力を向上させ、客観的に自分の意見を伝えることができるようになる。 3. 実際のレポートや論文の例文に多く触れ、レポートや論文を書くために必要な文法を使い分けることができるようになる。 4. 日本語母語話者の大学生向けのテキストを使うことにより、日本の「隠れた文化」を知ることができるようになる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)		
読む	未習の語彙が含まれる幅広い分野からの文章を類推を用いて読むことが出来る。	辞書を用いて文章を読むことが出来る。	文章を読むのに大きな手助けを必要とする。		
聞く	幅広い分野からのまとまりのあるテキストを聞いて、未習語や聞き取り難い部分があっても全体から類推して情報を得ることが出来る。	繰り返せば、幅広い分野からのまとまりのあるテキストを聞いて、未習語や聞き取り難い部分があっても全体から類推して情報を得ることが出来る。	繰り返しても、まとまりのあるテキストを聞いて全体から類推して情報を得ることが難しい。		
話す	様々な話題について、自分の考え・意見をより自然に述べる事が出来る。	こちらの手助けがあれば、様々な話題について、自分の考え・意見をより自然に述べる事が出来る。	より自然に自分の考え・意見を述べる事が難しい。		
書く	様々な話題について、表現したい内容を適切な語彙を用いて書くことが出来る。	様々な話題について、表現したい内容を適切な語彙を用いて書くことがやや難しい。	様々な話題について、表現したい内容を適切な語彙を用いて書くことに大きな手助けを必要とする。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	日本語能力試験N1レベルの語彙・漢字・表現・文法の力を十分に発揮できることを目指して、4技能 (聞く・話す・読む・書く) を関連つけた演習やタスク活動を中心に進める。日本語での情報受信力 (聞く・読む) を確実にすると共に、発信力 (話す・書く) の向上をはかる。公的・社会的な場面でも通用する日本語運用力を身につけることを目指す。				
授業の進め方・方法	(事前学習) 授業では、幅広い分野の日本語に触れ、様々なテーマについて自分の考えを発表するので、あらかじめ資料に目を通し語彙などは確認しておくこと。 (事後学習) 授業後はそれぞれのテーマに基づいて更なる情報を集めるなど発表の準備にあたること。				
注意点	開講後、学生の日本語能力を判断した上で、授業内容や教科書を変更することがある。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス ・お知らせのメール	・ 予習内容をもとにディスカッションすることにより、自分と他人の考え方や捉え方の違いを理解できるようになる。日本の「隠れた文化」を理解する。 ・ 様々な分野の文章を読み、より広い視野と主体的に考えていく力の習得。	
		2週	・ レストランのメニュー	・ 同上	
		3週	・ 問い合わせのメール	・ 同上	
		4週	・ 注意書きやサービス案内	・ 同上	
		5週	・ お願いのメール	・ 同上	
		6週	・ お店やイベントの広告	・ 同上	
		7週	・ わかりやすいマニュアル	・ 同上	
		8週	・ 場所や交通の案内	・ 同上	
	2ndQ	9週	・ 企画や提案を出す	・ 同上	
		10週	・ ニュースレターを作る	・ 同上	
		11週	・ アンケート用紙を作る	・ 同上	
		12週	・ 掲示板やメーリングリストを使う	・ 同上	
		13週	・ 日本語弱者のことを考えて書く	・ 同上	
		14週	・ レポートや論文を書く	・ 同上	
		15週	・ 自己アピールをする	・ 同上	
		16週	・ 前期のまとめ		
後期	3rdQ	1週	・ 問い合わせをする	・ 同上	
		2週	・ お店で接客をする	・ 同上	

4thQ	3週	・お願いをする	・同上
	4週	・お店やサークルの宣伝をする	・同上
	5週	・誘う、断る、謝る	・同上
	6週	・道や交通の案内をする	・同上
	7週	・インタビューをする	・同上
	8週	・雑談をする	・同上
	9週	・スピーチをする	・同上
	10週	・会議で発言をする	・同上
	11週	・手順を説明する	・同上
	12週	・やさしい日本語で話す	・同上
	13週	・プレゼンテーションをする	・同上
	14週	・研究を発表する	・同上
	15週	・面接を受ける	・同上
	16週	・後期、年間のまとめ	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		事前学習と発表	学習内容のまとめと課題レポート	授業中の取り組み	合計
総合評価割合		40	40	20	100
総合評価割合		40	40	20	100